

11月28日(火)の理財局長答弁(抜粋)

- ご指摘の財務局職員の発言に関する音声データにつきましては、昨日ご答弁を申し上げました45分のデータと異なりまして、おそらく全部が公開されているわけではなく、会話の一部が切り取られていると承知している。
- 報道されている音声データは、平成28年の3月下旬から4月頃に、森友学園側を訪問した際のやり取りではないかと思われる。
- 平成28年3月11日に新たな地下埋設物が出てきた旨の連絡が森友学園側からあり、3月24日には、森友学園より、新たな地下埋設物の撤去費用を控除した価格で本件土地を購入したいとの要望が出され、それを踏まえて、本件土地を売却する方向で、森友学園との打ち合わせに臨んでいたところ。
- 地下埋設物の撤去費用を見積もるためには資料が必要であり、3mより深いところから出てきたものについては、新たな地下埋設物になるとの認識の下で、必要な資料の提出をお願いする旨の話をしていた。
- ただし、報道を聞いていると、こういう認識を伝える表現として、ストーリーという言葉を使っているが、それは大変適切ではなかったというふうに本人も申している。
- いずれにしても、先方とは様々なやり取りがあったが、新たな地下埋設物の撤去費用を見積もるためには、資料が必要であるから、様々な資料の提出をお願いしていたということ。

(以上)